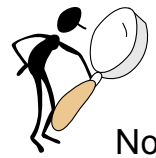




しりょうかんだより



No.5



きょうどしりょうかん にわ みんが みんぞくしりょうかん てんじ か
郷土資料館の庭にある古い民家・民俗資料館の展示が変わりました。

どま ふくげん いた ま いろり かこ あんどん
土間には復元されたかまどがあり、板の間では囲炉裏を囲んで、古い行燈や
はこせん しょつき じゆう
箱膳や食器を自由に手にとることができます。

また石臼をまわしたり、てんびん
天秤ばかりやバネばかり
りを使って実際に物を測ってみることができる
ほか、てんびんぼう 物 はこ たいけん かこ の
天秤棒で物を運ぶ体験や駕籠に乗ること
もできます。いちどあそ
一度遊びにきてください。



とよたのれきし(古代3)

(1,300年から1,100年くらい前の話)

今から1,300年くらい前、やまとちやうてい た くに おき
大和朝廷は大きなお寺を建てることで国を治めま
した。そのせいりよく ちほう とよたしいき まいぎちやう てら
勢力はこの地方にもおよび豊田市域では舞木町など何カ所かにお寺
があったことがわかっています。れんげもん かわら どう はしら ささ
蓮華文の瓦などが見つかかり、塔の柱を支えた
いし とうしんそ くに しせき まいぎはいじ してい
石(塔心礎)がのこり、国の史跡(舞木廃寺)に指定されています。

この頃の市域は、みかわこく かもぐん あおみぐん ぐん
参河国の賀茂郡、碧海郡で、郡の中にはそれぞれいくつか
の郷がありました。このうちばしよがわかるところは、かも いぼ ころも
高橋・采女(敵部か?)などで、こうした土地では古くから人々が暮らしてい
たことがわかります。このうち伊保郷の印とされるどうせい いんかん きやうどしりやうかん
銅製の印鑑が郷土資料館に
あります。



まいぎはいじ (豊田市舞木町)
舞木廃寺



いぼごういん していばんかざい
伊保郷印(市指定文化財)

きせつのはなし —春の遠足—

遠足の起源は神様に会いに行く日？

春になると、^{ひざ}陽射しも^{あか}明るくなり、ハイキングやピクニックにいきたくなります。小学校や中学校では、^{えんそく}楽しい遠足に出かけます。

遠足の起源はとても古く、「山遊び」という風習に見ることができます。^{むかし}昔は、春になると、^た田の^{しごと}仕事に入る前に、^{むらびと}村人が^{のやま}こぞって、^で野山に出かけ、^{あそ}遊んだり、^{いんしよく}飲食をするならわしがありました。この日は仕事を休まなければならない^{ものい}物忌みの日（^ひ悪日、^{あくび}節日とも言いいます）の^いひとつにもなっていました。山遊びは、^{きゆうれき}旧暦3月3日に行われた^{おこな}年中行事で、^{ねんちゆうぎようじ}暖かい^{あた}地方では3月3日、^{さむ}寒い^{ちほう}地方では4月8日に行われていました。現在でも、^{ふうしゅう}こうした^{ぜんこくてき}風習は全国的にみられます。

春は^{やま}山の^{かみ}神が^{さと}里に^お降りてきて、^た田の^{かみ}神となる^{きせつ}季節で、^た田の^{かみ}神は、^{いね}稲が^{じゆんちよう}順調に^{そだ}育つよう^{みまも}見守って、^{しゆうかく}収穫が^す済むと、^{やま}また^{かえ}山に^{しん}帰って^いいくと^{れいこん}信じられて^{かみ}いますが、^{じつ}その^{そせん}神は^{れいこん}実は^{れいこん}祖先の^{れいこん}靈魂だとも^いいわ



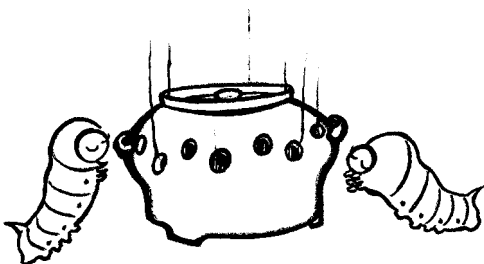
山遊びは山に^{かみさま}神様を^{むか}迎えに^いいくことです。山に^い入って、^{かみさま}神様と^{いんしよく}飲食を^{とも}共にし、^{とし}その^{ほうさく}年の^と豊作を^{ねが}お願^いいし、^{さと}里に^お降りて^き来て^{ふうしゅう}いただく^{ふうしゅう}風習^なのです。

民具 MINGU

あんぼんたん

晴れ着などの^{きもの}着物は^{きぬ}絹で^かできて^いいます。絹は^{かいこ}蚕の^{まゆ}繭から^かつくら^れれます。蚕は、^{はる}春・^{なつ}夏・^{あき}秋の^{ねん}年に^{かいしいく}3回^{さむ}飼育^しされますが、^{はる}寒いと^{ばんしゅう}死んで^はしま^います。春や^{ばんしゅう}晩秋に^{そだ}育てる^{かいこ}蚕を^{さむ}寒さから^{まも}守るための^{どうぐ}道具が^いあんぼんたん^{です}です。

あんぼんたんは、^{せきかつしよく}赤褐色の^{とうき}陶器で、^{なか}中に^{すみ}炭を^い入れて、^{さんしつ}蚕室を^{あた}暖め、^{かいこ}蚕を^{さむ}寒さから^{まも}守ります。



しりょうかんだより No.5

平成14年2月28日発行

編集・発行 豊田市郷土資料館

〒471 0079 豊田市陣中町1 21

でんわ 0565 32 6561

郷土資料館では、みなさんが住む豊田市の歴史を紹介したり、大事な資料を集めたり、遺跡の発掘調査などを行っています。